

## 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル 地域行政社会実現に向けた地域包括ケアシステムの深化

### 現状と課題

平成29年度から、市内を3つの日常生活圏域（きたよし、なかよし、みなよし）に分割し、それぞれの圏域を担当する地域包括支援センターを設置しており、各センターにおいて、地域に密着した支援を行っています。しかしながら、各日常生活圏域の高齢者人口については、少ない圏域では2,500人程度、多い圏域では4,500人程度と地域差が顕著になっています。

### 第8期における具体的な取組

現在の3つの日常生活圏域を4地域に分割し、地域包括支援センターを1か所新設します。総合相談支援事業として、介護に関するだけでなく、介護以外の相談にも対応し、高齢者の総合的な支援を行います。

高齢者の心身や生活の状況などを把握し、保健、医療、介護、社会福祉など関連するサービスの情報提供や関係機関との連絡調整を行います。

### 目標（事業内容、指標等）

総合相談支援事業（実態把握）

令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度
1,200人	1,600人	1,600人

### 目標の評価方法

- 時点
  - 中間見直しあり
  - 実績評価のみ
- 評価の方法
  - ・ 総合相談支援事業（実態把握）延人数の計上